

申酉天中殺

天中殺の中では高い位を有するものの一つであります。

皆様の中には「天中殺に位があるのか…」と、びっくりする方もいらっしゃるでしょう。

「そうなんです」算命学では天中殺を種類別に分けますと、およそ四千種ほどになりますが、そのすべてに位があるのです。

そのために、申酉天中殺のことを『紫辰(ししん)天中殺』とも呼ばれていて、「帝王の天中殺」という異名がある程なのです。

この天中殺に共通していることは、集団形成や、集団の気運を盛り上げる才能をもっていることです。

表面的な性格はいろいろですが「長たるうつわ」を気運にもっている…と云えます。

ただ残念なことは、気運が大きいために、よほど自分自身をコントロールしていかなければ、運気が逆転して「有言不実行」の人間になるオソレがある…ということです。

それは「自我」と「自尊心」と「夢」のみが膨れ上がり、なにごとも中途半端な人生で終わることになるのです。のために人生の一時期、自己形成の時代を持つ人は、実に「大きな人物」となります。

いわば陽作用と陰作用のようなものです。

申酉天中殺の世界は、自分の心の領域が確立されると、相当の苦難はあるでしょうが、中年以後は集団の中で成長し「衆を誘導(ゆうどう)する」才をもちます。

最大の欠点となるところは、実に「ワンマン」であります。

それが逆にあらわれると「わがまま」「自分勝手」…となるのです。それも良否どちらかに極端に表出されるわけです。この状態は人生上の行程のみにあらわれるのではなく、じぶんを中心とした家族の運にもあらわれるのです。

女性の場合だと、子供運にあらわれ、大変良い子を持ち、老後を支えて呉れるか、または、その逆で、生涯子供のために苦労し続ける…か、のどちらに片寄ってしまいます。(子縁がない場合もあります)

この場合はどちらにしても、ある一方のみは良好ということになります。

子供運が悪ければ財運に恵まれたり、子供運が良ければ仕事運が悪かったり…するのです。

ただし、これは女性のみの場合で、算命学の原理上、男性には当てはまりません。

本来男性の場合は、内面的に孤独的心情が強く、集団の中にいても、また、社交の上手さがあっても、自分自身のひとり時間の中で、楽しみをみつける才能があるからです。

特別、親友がいなければ淋しい…ということは少ない方です。

しかし、相対的に人付合いは実に良い方です。ただ静かな社交といえる状態で、口には出さないで必ず実行に結びつけます。ただし、陰作用の場合は全く逆であります。

算命学の原典には『静かなる戦陣(せんじん)』という表現がしてあって、「いざ戦い」となると「一気呵成(いっきかせい)」破竹(はちく)の勢いで突き進む気運を持つ…といっています。

申酉天中殺の特徴

申酉天中殺の人は大変ユニークなエネルギーを持った人です。大変働き者で、なんといっても、身体がよく動く人。それも、この天中殺の働き方は「私は、こんなによく働いていますよ」といった見え見えの働き方ではありません。ごく、自然に身体の方が動いて行くような、大変にマメな人なのです。

たとえば、申酉天中殺の人は、こたつに入って「ただ、ジッとテレビを観ている」…といったことは出来ないはずです。テレビを観ながら、口も動かす、手も身体も動かす……雑誌や新聞をみたり、切り抜いたり、ついでに片づけて整理してしまう。結局。テレビは半分も観ないでせかせか動いている。

自分ではごく自然に手も身体も動いていて、少しも多忙しい…とは思っていないのでしょうか。

しかし、よそから見ていると「いつも、なにかしらゴソゴソ動いていて落ち着かない人だ。あの人のそばではちょっとも気持ちが休まらない」…と思われていることが多いのです。

西方位に位置するこの申酉天中殺が正反対の東にある『行動するエネルギー』を本能的に求めるので、この行動力こそ…が、申酉天中殺の人の人生を宿命づけていくものだと云って良いと思います。

(別紙の資料『天中殺の方向と位置』を参照してください)

仕事のしかたにしても、一つのことを根気良く、コツコツ続けていったり、ジッと一つことに粘り抜くことはしません。一度にアレもコレもやりたがるし、また、その出来る行動力を持っているのです。

たとえば、女優さんなどでも、女優としての才能もすぐれているうえに、家庭ではちゃんと立派に主婦も務め、家庭と仕事を両立させている。——こういうことが難なく出来るのが申酉天中殺です。

一人、二役でも三役でもこなせるわけです。

ですから、申酉天中殺が事業家になると、A社、B社、C社…と、違う業種の会社を何社も持つ事が出来るのです。こまめに働くのは得意ですから、A社へもB社へもC社へも、それぞれ顔を出し、仕事を見るのが苦にならない。

六つの天中殺の星のうちでも、パワーは大変にある方です。パワーナンバーワン…が寅卯天中殺とすれば、第二番目は申酉天中殺の星だと云って良いでしょう。

こうした現実世界の行動力は政治家・事業家・芸能界……どんな分野でも活躍出来るパワーがあります。

また、申酉天中殺には、環境の変化に合わせて行く力があるのです。その時々の環境や状況にすばやく頭を切り換えることができ、対応出来るからこそ、何役持とうとも平気なのです。

たとえば、事業家なら世の中の変動に対する対処の仕方は非常に早いのです。

株価が上がったら売り、下がったら買う…といったような対応の速さはたいしたものです。

ただし、申酉天中殺が持っているこうした一種の感覚は、すべて、現実の世の中のことに対してだけ。

つまり芸術的な感性や創造的な感性があるというのではありません。言ってみれば、世渡りのうまさ、処世術…といったものに対する独特の感覚と云っていいかも知れません。

たしかに、一種の『要領のよさ』を持っています。申酉天中殺は学校時代には必ずしも成績が良いとはかぎりません。しかし、世の中に出ると、この世渡りのうまさ、世間の風向きに対する感覚や行動力で、とたんにいきいきと力を発揮します。